

目次

労務者疫世第十五号

特別荏辱し

その一	まえがき		2
その二	詩「前科者」	駒合哉	4
	あてがいぶちのミラミから		
	相模の網走まで	駒合哉	6
その三	縣議あやこり		11
その四	飯ムシ戦后史	中野奈加仕	26
書外	鬼平と人足寄場	労務者の歴史調査会	15
	☆ハニニューズ評議カンゴク法改正と読者新聞		19
	☆ハニニューズ手帖		20
	☆とせいでんごんばん		22
	☆読者の声		38

金ヶ崎と京橋で同時蜂起!!

☆編集後記

岩田秀一編

44

39

わたしや十九の厄年よりも

あなたの公判気にかかる

まして三年うたれたならば

アア三年間は籠の鳥

待つてというならいついつまでも

あなたのお帰り待ちましょり

電信柱に花咲くまでも

アア石の地蔵さんくさるまで

(作者不明 板津秀雄著「看守」より)